

自宅待機の子ども達を元気に！ いるまっ子チャンネル

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、突然休校が決まりました。入間市では、首相の休校要請の翌日昼に3/2～の休校が正式決定。その日が3学期最終日になりました。下校までの時間はあまりに短いものでした。お別れの言葉も十分に伝えられずにいた先生方に協力いただき、家で過ごしている子どもたちに向けた教材コンテンツを制作しました。

番組の一例



チャレンジ！九九検定

3学期に実施するはずだった「九九検定」をテレビで再現。先生より早く九九を言えるかな？



家でもできる エクササイズ

外出できない子どものために先生がオリジナルの運動を考案。BGMは先生の歌声。



よいこのすごしかた

よくねる、のこさず食べるなど、家での過ごし方を1年生の先生が楽しく説明。

より多くの子ども達が見られるよう、YouTubeにも動画をアップ！



自宅待機の子ども達を元気に！

学習コンテンツだけでなく、子ども達が笑顔になる企画を実施



先生バンドが校歌演奏

産休中の音楽の先生が登場し、先生方が校歌を演奏。



ラジオに先生が登場

気持ちを伝えられなかった6年生の先生が思いを語る。

ほかにもいろいろ…（予定）

- 中止になってしまった卒業制作展。学校に作品を展示し、テレビで放映
- 6年生を送る会で児童が披露するはずだった劇を先生が演じて放送
- 担任からの応援メッセージをテレビで放送
- 小学校の職員室から生中継
- 規模縮小で保護者は参列できない卒業式を全て収録して放送予定。

今さまざまな自宅待機児童の支援の動きが広がっていますが、一番子ども達元気になるのは、先生からの言葉や笑顔です。

3/2に1校目の校長に相談。翌日に職員全員の賛同をいただき、その翌日に撮影。一刻も早く子ども達を元気したいと制作しました。

ケーブルテレビだからこそできる企画であり、普段から学校との信頼関係があるからこそ実現したものです。

今後も地域に寄り添った企画で地域に貢献していきます。

備考：単発の企画ですが、地域に密着したケーブルテレビならではの企画と考えてエントリーいたしました。



ホームページにも専用ページを設け、加入世帯以外にも楽しんでいただけるようにしました。

（休校終了まで期間限定）

ICTV. 入間ケーブルテレビ

